

	契 約 用
	業 者 用

南車両基地コンプレッサー整備(日立産機製)
業務委託仕様書

令和5年度

高速電車部車両課真駒内検修係

担当者 田名瀬 佑	Tel582-1431 (内) 8318	札交車 23 第 1203 号
-----------	----------------------	-----------------

1 適用範囲

本仕様書は、南車両基地に設置されているコンプレッサー整備に適用する。

2 実施場所及び検査場所

札幌市南区真駒内東町2丁目1番1号

札幌市交通局高速電車南車両基地

3 業務内容

(1) 南車両基地ボイラー室横で使用しているスクリー圧縮機を分解整備する。

形式・・・(株)日立産機システム「OSP-37M5WR1」～1台

(2) 交換部品

分解整備に伴う交換部品については、委託者が支給するものとし、交換部品は次のとおりとする。

品名	図番・型番	数量	単位	摘要
キット部品	5530-6013	1	個	(株)日立産機システム製
OHキット	5530-6004	1	個	〃
ヘイコウピン	3384-1240	2	個	〃
Mシープ	5323-1060	1	個	〃
モータベアリング	5232-1130	1	個	〃
モータベアリング	5232-1140	1	個	〃
スイツカバパッキン	2231-4651	1	個	〃
スイツカバパッキン	2231-4661	1	個	〃
Oリング	3322-2150	1	個	〃
ACパッキン	2231-4831	1	個	〃
AFセンサー	5265-2240	1	個	〃
サーミスターTH2	5230-3243	1	個	〃
サーミスター	5230-3251	1	個	〃
デンジベン	5230-5010	1	個	〃
アツリョクスイッチ	5230-6720	1	個	〃
リリーフベンブヒンマトメ	2171-3910	1	個	〃
ファンモーター	5904-0280	1	個	〃
アツリョクケイ	5230-5050	1	個	〃
ドレントラップ	2510-1254	1	個	〃
ゲンアツベン	5900-1570	1	個	〃
Vプーリ(9.4K)	5530-A310	1	個	〃

VRベルト(2ホンセット)	5530-A350	1	個	〃
サーモバルブ(82ド)	5517-A950	1	個	〃
スクルーオイルNEXT(20L)	5517-3321	1	個	〃
HA-37Bエレメント	5497-0010	1	個	〃
HM-37Bエレメント	5505-0010	1	個	〃
ハウジングOリング	5496-0030	2	個	〃

(3) 機能確認

分解整備後は、各機器への給油及び調整を行った上で試運転を充分に行い、不具合の無いことを確認すること。

4 履行期間

契約書に示す着手の日から令和6年3月22日まで

5 提出書類

- | | | |
|---------------------------------------|----|--------------|
| (1) 業務着手届 | 1部 | |
| ※業務着手届には、労働基準監督署の「保険関係成立済」印が押されていること。 | | |
| (2) 業務工程表 | 1部 | |
| (3) 業務主任経歴書 | 1部 | |
| (4) 整備記録表 | 1部 | 完了と同時(写真集合む) |
| (5) 業務完了届 | 1部 | |

6 経費の負担

本業務の遂行に要する経費については、委託者支給品と車両基地内で業務に使用する電気・水道を除き、受託者の負担とする。

7 疑義の解釈

本仕様書に明記されていない事項及び疑義が生じた事項については、委託者と十分協議すること。

8 札幌市環境マネジメントシステムの運用への協力

- (1) 受託者は、作業に従事する者へ本市の「環境方針」(別添)を周知し、本市の環境配慮に対する取り組みについて理解させること。
- (2) 受託者は、本市環境マネジメントシステムに合致する形で業務を遂行すること。

9 その他

委託者が使用を許可した作業場は、整理整頓及び清掃を行うこと。

環境方針

1 基本理念

札幌市役所は、地球環境への負荷を継続的に低減するため、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の削減など、環境配慮取組の推進に努めてきました。

近年、気象災害をはじめとした気候変動の影響が深刻化する中、脱炭素社会の構築に向けて、気候変動対策は大きな転換期を迎えています。

札幌市においても、地球の平均気温の上昇を1.5℃に抑える努力を追求するというパリ協定の目的を踏まえて、2050年の目標に「温室効果ガス排出量を実質ゼロにする（ゼロカーボン）」を設定するとともに、2030年についても高い目標を掲げて温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいくこととしました。

札幌市役所は、市域の温室効果ガスの約6%を排出する市内最大級の事業者であり、自ら排出量の削減に率先して取り組む姿を市民・事業者へ示していくことが必要です。

そのため、徹底した省エネルギー対策を進め、そのうえでどうしても必要なエネルギーは再生可能エネルギーへと転換していくことを基本的な方向として、環境マネジメントシステムによる継続的改善を図り、札幌市役所の事務事業に伴うエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を着実に削減していきます。

また、国連「持続可能な開発目標(SDGs)」の視点を踏まえ、環境配慮取組を推進することで、温室効果ガス排出量の削減のみにとどまらず、経済、社会分野の統合的解決を目指すとともに、市民・事業者・行政が協働し、一体となって脱炭素社会に向けて取り組むことで、「心豊かにいつまでも安心して暮らせるゼロカーボン都市『環境首都・SAPPORO』」の実現を目指してまいります。

2 基本的方向

全ての部局は、所管する事務事業について、環境に関する法令を遵守することはもとより、SDGsの視点も踏まえながら環境配慮取組を推進し、脱炭素社会の実現に向けて、以下の項目に重点的に取り組みます。

- 1 徹底した省エネルギー対策を進めます。
- 2 再生可能エネルギーの導入を拡大します。
- 3 移動における脱炭素化を進めます。
- 4 廃棄物の発生・排出を抑制し、省資源・資源循環を推進します。
- 5 環境負荷の少ない製品やサービスを利用します。
- 6 事務事業のみならず、公共工事・委託業務における環境負荷を低減します。
- 7 環境問題に関する啓発・教育活動を推進します。

この環境方針による環境活動の成果は、市民に公表するとともに、市民からの意見を市政運営に反映させていきます。

令和3年4月1日

札幌市長 秋元克広

札幌市環境局

